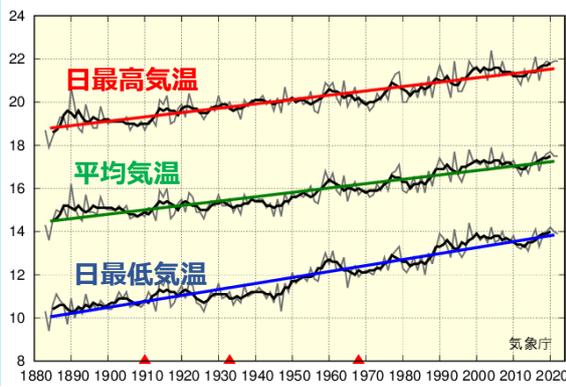


みんなで考えよう

気候変動への「適応」

大阪では、気候変動によって何が起きているのでしょうか？



大阪の気温 3 要素

最高気温が高く、夜も気温が下がらない

ヒートアイランドの影響で、国内の他地域より大阪は気温の上昇幅が大きい
(100年で約2℃上昇!)



巨峰の品質低下



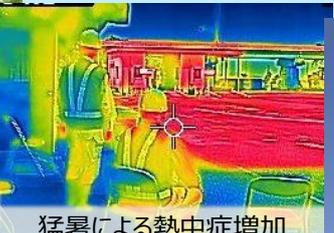
イカナゴの漁獲量減少



強雨による流木被害



希少なブナ林の衰退



猛暑による熱中症増加



桜の開花の早期化

※このほか、経済活動分野で、保険金支払いリスクの増大や輸入品の価格高騰などのリスクもあげられています

地球温暖化による**気候変動**によって、**様々な分野に影響**が出ています。

気候変動の悪影響（被害）を軽減し、好影響を活かす「適応」の取組が必要です。

おおさか気候変動適応センターでは 気候変動に関する情報を収集・分析・発信しています

おおさか気候変動適応センターは、大阪府から指定を受けた環農水研が設置・運営しています



熱中症予防の指標「暑さ指数」の調査を行っています。熱中症対策の基本は、食事・睡眠・水分摂取です！
 （気候変動グループ 安松谷主任研究員）

暑さ指数の調査



イベント開催



地下からの脱出
 動画配信



ホームページ



セミナー開催



<https://lccac-osaka.org/>

環農水研 適応



地方独立行政法人
 大阪府立

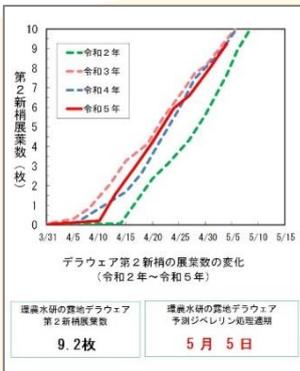
Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture

環境農林水産総合研究所

おいしい果物を



大阪特産のデラウェアは、種なし化のために、適期に植物ホルモンの一種であるジベレリン処理が必要です。この適期は展葉数（新しい枝の葉の数）で判断します。近年の温暖化による春先の気温上昇により、平年よりも適期が早まる年が多くなっています。環農水研では、気温に基づいた展葉数の予測モデルを開発し、適期予測をホームページで公開しています。



ジベレリン処理の様子



予測情報を計画的な栽培管理にお役立てください！（葡萄グループ 上森研究員）

ホームページで毎年「露地デラウェアのジベレリン処理適期予測」を掲載



大阪湾で育つワカメって本当に美味しいんですよ。（水産支援グループ 山中主任研究員）



フラスコ内で育つワカメ（配偶体）

豊かな大阪湾の恵みを



大阪湾で行われているワカメ養殖は、春～秋に陸上の大型水槽でワカメ種苗を育てます。「配偶体」という微小な状態の時期に水温が上昇すると枯れていました。環農水研では、夏の高温を回避し涼しい実験室のフラスコで配偶体を育てる「フリー配偶体」技術を活用し、良質なワカメ種苗を生産する方法を漁業者と協力して開発しました。府内養殖業者向けにマニュアルを作成して、普及を後押ししています。

自然災害の未然防止を



近年の温暖化の影響によって、災害級の大雨の増加が予測されており、土石流や流木による被害拡大が危惧されています。環農水研では自然を活用した防災・減災対策（グリーンインフラ）の効果を明らかにするため、間伐の実施による下層植生の回復、それに伴う土砂流出の抑制について検証するなど、長期のモニタリングを行っています。



大雨による土砂崩れの発生状況



森林の多面的機能を明らかにして災害に強い森づくりに貢献します。（自然環境グループ 土井主任研究員）



高品質な水ナス生産を増やして、産地を盛り上げていきます。（園芸グループ 大石主任研究員）



高温下ではつや無し果に



細霧冷房システム

おいしい野菜を



大阪特産の水ナスは、高温下では果皮のつやが無くなる「つや無し果」になり、商品価値が低下します。環農水研では、ミストの気化熱を利用した細霧冷房システムを導入してハウス内の温度上昇を抑え、水ナスのつや無し果の発生を抑制する栽培技術を開発しました。

おいしいお米を



米の出穂後、高温の日が続くと品質低下が occurs。環農水研では、大阪の環境に適した米の高温耐性品種を選定する栽培試験を行い、府域で栽培適性が高い3品種（右図）を明らかにしました。これらは産地品種銘柄に登録されており、直売所などでご購入いただけます。



「恋の予感」

「にこまる」



炊き立てもおにぎりもおいしいお米をご賞味ください。（園芸グループ 岩本技師）

